

## 第3回学校運営協議会、いじめ対策委員会開催

2月16日（金）に10名の委員参加のもと、第3回学校運営協議会並びにいじめ対策委員会が開催されました。

学校運営協議会では、教頭より今年度の学校評価の結果や学校自己評価について説明し、委員の皆様からご意見をいただきました。その後、校長より令和6年度の学校経営方針について説明を行い、委員の皆様から次年度の学校経営方針について仮承認をいただきました。

その後、以下のとおり「安全」をテーマにして熟議を行い、それぞれのお立場から貴重なご助言をいただきました。

### ○テーマ

「土合中の子どもたちの安全のために 学校、家庭、地域連携してできること」

○安全に関する中学校の取組を参考に、連携可能かどうかの観点で熟議を実施した。

- ・「緊急時引渡し、一斉下校訓練」
  - 小学校では全員が引渡しであり、中学生は保護者の希望による。災害の発生は同時刻に起こるのだから、小学校と中学校の合同開催など、実施の可能性を探っていくべき。
  - 保護者としては、中学生の兄姉と一緒に弟妹を迎えに行く方が助けになる場合もある。
- ・「普通救命講習（職員対象の心肺蘇生法）」
  - 一般市民である保護者も参加できれば救命率の向上に直結するはずではないか。
  - 生徒の学習場面（保健授業）を参観するという形を検討していく。
- ・「スマホ・タブレット安全教室」
  - 次年度も学校公開日等に日程を合わせて保護者参加対象として検討していく。
- ・「薬物乱用防止教室」「デートDV防止教室」
  - 地域（社会）との連携に加え、保護者への啓発をさらに行い、授業公開の検討も行う。
- ・「避難場所開設運営訓練」「各自治会の防災訓練」
  - 中学生の参加率を向上させるために、早めの周知と生徒への啓発を行う。
  - 参加した生徒へ「参加証」に相当する証明書等を発行し、意欲喚起の一助とする。
- ・地区ごとのパトロールや見回り、横断歩道の旗振りなどを総括して見直しを図っていきたい。

